

項目	取組状況
<p>教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成 29 年度担当科目 <p>総合工学実験実習Ⅱ（2 年），無機化学Ⅰ（3A），分析化学Ⅱ（4A），基礎研究（4A），環境物質化学実験Ⅱ（5A），卒業研究（5A），応用物理化学（専攻科 1 年 A），工学システム設計演習Ⅱ（専攻科 2 年），工学システム実験実習（専攻科 2 年），工学特別ゼミナールⅡ（専攻科 2 年），工学特別研究（専攻科 2 年）</p> ◆ 担当科目の取組状況（工夫・改善した点） <ul style="list-style-type: none"> • 学習内容の解説はパワーポイントスライドを用いて最低限にとどめ，できるだけ学生が問題に取り組む時間を確保した。また，授業の最後には確認テストを実施し，自身の理解度を把握させるだけでなく，演習問題に緊張感をもって取り組めるよう工夫した。 • 本科の実験実習科目においてはループリックを導入し，実験に取り組む姿勢やレポートのでき具合など学生自身が振り返る仕組みを取り入れた。 • 専攻科の実験実習においては，微生物燃料電池を題材とした教材開発を課題として設定し，異なるコースの学生同士が協力しながら，企画開発から外部評価までの一連のものづくりのプロセスを体験できるよう工夫した。 ◆ 特記すべき教育方法の実践例 <ul style="list-style-type: none"> • 授業改善に関する取り組み内容をまとめ，日本化学会の教育誌への投稿や日本高専学会での発表を行った。 • 専攻科の実験実習で作成した教材を元に，学生を主体とした公開講座を実施した。 ◆ 校長顕彰などの受賞 <ul style="list-style-type: none"> • 校長顕彰実施要項第二条第一項（2）による受賞
<p>研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成 27～29 年度における研究業績 <ul style="list-style-type: none"> ■ 学術論文執筆 <ul style="list-style-type: none"> • 新任教員は授業方法がわからない?!-アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の実践-野田達夫 化学と教育, 65 (4), 182-183 (2017). • Fabrication and Characterization of Ultrathin-ring Electrodes for Pseudo-steady-state Amperometric Detection Kitazumi, Y., Hamamoto, K., Noda, T., Shirai, O., and Kano, K. Anal. Sci., 31 (7), 603-607 (2015). ■ 国際会議での発表 <ul style="list-style-type: none"> • Development of microbial fuel cells utilizing glycerol as a sole carbon source Nishioka M., Den H., Noda, T., Sugiura, K. 2017 Fuel Cell Seminar & Energy Exposition • Evaluation of electrolytic property of porous metal electrode Sugiura, K., Yamaura, K., Noda, T., Kanoko, Y., and Tanaka, S. The Energy & materials Research Conference 2015 ■ 学術講演会での発表 <ul style="list-style-type: none"> • 実験教材化を目指した干渉色アルミホイルの作製

	<p>浅野加奈子, 川上太知, 野田達夫 日本化学会第 98 春季年会</p> <ul style="list-style-type: none"> • “泥んこ発電” を利用した微生物育成ゲームキットの開発と小学生向け実験教室の実施 櫻井 渉, 戸谷明寛, 山中亮輝, 西村拓巳, 牛本 滯, 大井かなえ, 辻元英孝, 野田達夫 第 3 ブロック専攻科研究フォーラム • 複合酵素膜電極を用いたバイオ論理ゲート 高尾隼空, 西岡 求, 野田達夫 日本高専学会第 23 回年会 他 14 件
<p>社会貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成 27～29 年度における公開講座・出前授業の取組状況 <ul style="list-style-type: none"> • 第 55 回寝屋川市児童理科研究発表会@国松緑丘小学校 • 大阪府大高専のおもしろ実験教室@八尾市立桂青少年会館 • 入浴剤をつくろう@八尾大正北小学校 <p>他 10 件</p> ◆ 平成 27～29 年度における学協会等の委員 <ul style="list-style-type: none"> • 日本分析化学会近畿支部 幹事 (平成 27 年度から) • 日本化学会近畿支部 化学教育協議会委員 (平成 29 年度から) ◆ 特記すべき社会貢献の内容 校長顕彰実施要項第二条第一項 (6) による受賞